

週報



天一国 9 年 2021 年

年頭目標

創造主、天の父母様に似た、
真の愛を実践する天一国の真の主人になろう

VISION

為に生きる幸せな家庭
地域と共にある教会
国家と世界に貢献する家庭連合

活動指針

1. 孝情文化の拡大を通じた青年伝道の活性化
2. 原理教育の強化と43家庭の実勢化
3. 為に生きる幸せな家庭づくりと世帯伝道
4. 地域づくりを通じた国づくり
5. 母の国の使命完遂と父の国との一体化

© 2021 天一国
天一国本部



世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

加賀家庭教会

KAGA FAMILY CHURCH

教会長：我那覇真

天の父母様と共にいる 私となりましょう！

真のお母様のみ言

「真の父母経」 P831

「日韓半島平和サミット」 2022. 2. 13

● 私が道を歩む中で孤独なときに、神様が私を呼んで、「誰々よ、私がいるではないか」と言って勧告してくださったことを思い出します。そうすると、孤独な立場が問題ではありません。「私一人だと思ったのに、あなたが私と共にいらっしゃるのですね」と言って、力強く歩いていくのです。

● ある時は、道を行く乞食を見ながら、「あの乞食が、私を訪ねてきた(天の)お父様の姿であればどうするか」と思って、痛哭に痛哭を重ねたこともあります。このような心をもって、どんなにみすばらしい服を着て乞食だとしても、その手を取って人知れず痛哭できる皆さんにならなければなりません。私はそのような立場を何度も経てきました。

● 苦痛の中に一人いる孤独な立場で、「お父様は薄情な方でもあられるな。お父様は無慈悲な方でもあられるな。責任だけ任せておいて面倒はみてくださらない」と考えることもありました。ところが、そのたびに神様は、「誰々よ、お前が乞食を抱きかかえているとき、私が共にいた。誰々よ、お前が塗炭の苦しみの中で哀れな人と共に涙を流しているとき、私が共にいた」とおっしゃいました。

● 私は春になると凍った大地から、まず最初に花を咲かせる水仙の花を好みます。人類歴史が墮落によって、困難で苦痛に満ちた人類歴史を見つめ続けてきた天の父母様の心を如何にして慰労してさしあげるかということ。この水仙の花を通して、読んでいます。まだ力はありませんが、凍り付いた大地をまず、最初に貫いて春の到来を告げるこの水仙の花を見ながら、私は真の父母の責任を果たすにおいて多くの環境圏の制約を60年間受け続けてきましたが、私はとどまることはありませんでした。そうして今日皆さんのような友軍がたくさん生まれました。ありがとうございます。